「ＪＲ吉備線のＬＲＴ化」を考える北区住民のつどい

　大森雅夫岡山市長は公共交通ネットワーク整備の一環の立場で、JR吉備線の次世代型路

面電車（Light Rail Transit、LRT）化を早期事業化させようとしています。

吉備線は岡山駅（岡山市北区）と総社駅（岡山県総社市）を結ぶ20.4kmの路線。JR西日本では吉備線の利便性向上を図るため、2003年に同線のLRT化が構想され、岡山市でも2014年度から検討会議がおこされ、2018年4月にはJR西日本や総社市とともに事業開始に合意。2019年1月には下記の図のような新駅の整備案も発表されています。

そして、備前三門駅周辺では、国道180号線上に路面電車として複線化するために、道路拡幅範囲を決定するための測量設計などを行なうとしています。

なぜ今ＬＲＴ化が必要なのか、将来にわたって公共交通機関として維持できるのか、利便性はアップするのか、財政と運賃はどうなるの、三門駅周辺の路面電車複線化は妥当なのか、など住民に十分に知らされていない、理解されないなかで進められようとしています。

吉備線沿いの住民でこの問題に関心ある方々があつまり、岡山市の進め方やＬＲＴ化そのものの問題点などを話し合いたいと思います。

3月28日(土)

午後1時30分～3時30分

福祉交流プラザ三友

２階・中会議室(３０人ほど入れます)

電話086-254-1992

駐車場は　岩井保育園の向かいの駐車場もお借りしています。ご利用ください

この問題で質問してくれた市議会議員さんも参加していただき、その様子などきかせていただくように準備しています。ぜひ、ご参加お願いします。

つどい呼びかけ人・事務局

　　中島 純男(三門地域革新懇・事務長)

　　　　　　℡　090-4805-3002



